

平成26年度病院医学教育研究助成成果報告書

報告年月日：平成27年 4月 13日

研究・研修課題名	日本糖尿病療養指導士資格認定更新、島根県糖尿病療養指導士資格更新・資格取得のための研修会、学会参加
研究・研修組織名（所属）	所属：糖尿病ケアサポート委員会 総括責任者：杉本 利嗣
研究・研修責任者名（所属）	守田美和（内分泌代謝内科）
共同研究・研修者名（所属）	(栄養治療室) 端本洋子、長澤亜沙子、矢田里沙子 (看護部) 石川万里子、田中沙枝子、佐中みどり、板倉弘美、有田容子、和田加代子 (検査部) 竹内志津枝、石原智子、福間麻子、谷口由紀 (薬剤部) 陶山登之、後藤貴樹、岩元陽香 (リハビリテーション部) 伊藤郁子 島根県糖尿病療養指導士認定更新者 (栄養治療室) 平井順子 島根県糖尿病療養指導士資格取受験者 (看護部) 藤井奈々子

目的及び方法、成果の内容

①目 的

日本糖尿病療養指導士の資格維持には、糖尿病患者の療養指導業務従事だけではなく、5年間で糖尿病療養指導研修（学会参加）20単位、自己の医療職種研修（学会参加）20単位の取得と、「日本糖尿病療養指導士認定機構主催の認定更新のための講習会」参加が義務づけられている。

また、島根県糖尿病療養指導士の資格維持には糖尿病に関する研修会・学会参加20単位取得が義務付けられている。

上記の講習会・学会に参加する事により、資格維持ならびに糖尿病とその療養指導全般に関する正しい知識習得、さらに高度な専門的知識取得する。

それにより院内の糖尿病治療の質を向上させる。

②方 法

本教育研究助成により、日本糖尿病療養指導士認定更新と島根県糖尿病療養指導士認定資格取得のための学会、研修会に参加した。

<資格試験受験のための研修会および資格認定試験>

○第8期島根県糖尿病療養指導士養成講習・認定試験 平成25年8月～平成27年7月6日 松江市・益田市

受講者：平井順子（栄養治療室）

○第15回受験者用講習会（日本糖尿病療養指導士認定機構）平成26年9月27～28日 岡山コンベンションセンター

受講者：岩元陽香（薬剤部）

○第15回日本糖尿病療養指導士認定試験 平成27年3月8日 岡山コンベンションセンター

受験者：岩元陽香（薬剤部）

<資格更新のための学会・研修会>

○第2回日本糖尿病療養指導学術集会 平成26年7月12日 国立京都国際会館

参加者：伊藤郁子(リハビリテーション部)

○第12回認定更新者用講習会(日本糖尿病療養指導士認定機構) 平成26年12月13～14日 岡山コンベンションセンター

参加者：石原智子（検査部）、竹内志津枝（検査部）

○第18回日本病態栄養学会年次学術集会 平成27年1月10～11日 国立京都国際会館

参加者：端本洋子（栄養治療室）

○第49回糖尿病学の進歩 平成27年2月20～21日 岡山コンベンションセンター

参加者：田中沙枝子（看護部）

③成 果

<資格試験受験のための研修会および資格認定試験>

2年間の養成研修を受講し、管理栄養士が1名「島根県糖尿病療養指導士」に合格した。

研修会では、糖尿病に関する基本的な知識から最新の情報を得ることができた。講義だけではなく、血糖測定、インスリン注射や調理実習など患者の視点に立った糖尿病治療についても実技をとおして学ぶことができた。また、県内の糖尿病に関わる他職種とともに学べたことは、チーム医療の大切さを再確認することができた。

また、薬剤師1名が「日本糖尿病療養指導士」を受験した。

受験者用講習会では、薬物療法の知識向上に加え、糖尿病治療に不可欠な食事療法や運動療法、患者心理など、糖尿病療養指導に関する知識を学ぶことができ、非常に勉強になった。他職種の分野も学ばなかで、糖尿病治療には、専門性も活かしつつチーム全体で協力する大切さを改めて感じた。

2名とも、糖尿病療養支援チームの一員として、今後の活躍が期待される。

<資格更新のための学会・研修会>

○第2回日本糖尿病療養指導学術集会

理学療法士による糖尿病療養指導の今後の課題という内容でポスター発表をおこなった。以前から当院で糖尿病療養指導に運動療法の面で携わり、障害の二次予防として運動療法の必要性を感じている中、なかなか実践できていなかった現状を報告した。また、グループディスカッションでは、他院の理学療法士の苦労話や多職種の話が聞けて非常に参考になった。治療が継続できずに難渋するケースについて、熱く皆でディスカッションする場があることに非常に新鮮に感じた。

○第12回認定更新者用講習会(日本糖尿病療養指導士認定機構)

日本糖尿病療養指導士は5年ごとに更新が必要であり、今回参加した認定更新用講習会は更新に必須の講習会である。講習会は多職種のコメディカルが集まった6人グループでのディスカッション形式が採られ、ケーススタディについて意見を出し合った。それぞれの職種の特性を生かした活発な意見交換が行われ、とても有意義な講習会であった。今回学んだ多くのことをチームで共有し、今後の糖尿病療養指導に生かしていきたい。

○第18回日本病態栄養学会年次学術集会

「糖尿病治療における糖代謝と食事療法について」のセッションで以下のことを学んだ。

糖代謝異常は、栄養代謝を考慮した食事療法が不可欠であり、病態に応じて薬物療法が導入されるが、薬剤の作用機序に応じた食事療法が糖尿病治療の効果向上に極めて重要であることから、処方されている薬剤によって、脂質やたんぱく質等の摂取や内容について考慮し指導に当たらなければいけないことを実感した。

○第49回糖尿病学の進歩

糖尿病療養指導士に求められる知識・面接技法を、各講義で学び、最新の知見を得ることが出来た。
また看護師として患者さんに寄り添った看護展開の必要性を再認識した。

* 島根県糖尿病療養指導士認定機構

島根県糖尿病要領指導士認定証 受領済 【2014年9月1日】